

- 問1 日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。
 - 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。
 - 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。
 - 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。
- 問2 北海道の農業では、1経営体あたりの経営耕地面積が約30.6ヘクタールと全国平均の約14倍に達する大規模な経営が行われています。一方で、自営農業従事者に占める65歳以上の割合が増加し、総農家数が減少しているという課題があります。このような背景から導入が進められている、ロボット技術やICTを活用した「スマート農業」の主な目的として最も適切な説明はどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- 手作業による伝統的な農法を維持し、農産物の希少価値を高めること
 - 化学肥料の使用を一切禁止し、すべての農作業を人力に切り替えること
 - 経営面積を縮小することで、小規模な家族経営農家を保護すること
 - 労働力不足や高齢化に対応し、作業の負担軽減や効率化を図ること
- 問3 北海道の農業の特色について述べた文として、生乳の利用状況に着目して説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- 生乳の生産量は多いが、そのほとんどは自家消費や道内での流通に限られており、加工品としての道外出荷は少ない。
 - 生産された生乳の多くをバターやチーズの原料とする「加工用」に回しており、広大な土地を活用した大規模な酪農が行われている。
 - 冷涼な気候を活かして乳牛の飼育が行われているが、生乳の生産よりも食肉用の肉牛の飼育が統計上の大半を占めている。
 - 大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保った飲用牛乳を都市部に供給する近郊農業が酪農の主流となっている。
- 問4 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため
 - 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。
 - 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。
 - 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。
- 問5 ニセコ町や倶知安町が進める「ニセコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備
 - 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ
 - 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること
 - 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること
- 問6 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
 - 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。
 - 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。
 - 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。
- 問7 北海道の農業の特色について、農家一戸あたりの耕地面積と、生産体制の関連性を説明した文として正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- 耕地面積は広いが寒冷地で機械が故障しやすいため、現在でも伝統的な馬や牛を使った耕作が続いている。
 - 耕地面積が全国平均より狭いため、土地を最大限に活用する集約的な施設園芸が発達している。
 - 耕地面積が全国平均に比べて非常に広いため、大型の機械を活用した大規模な農業が行われている。
 - 広大な耕地を維持するために、海外から多くの季節労働者を雇い入れる労働集約的な農業が主流である。
- 問8 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。
 - 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。
 - 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。
 - 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。
- 問9 北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。
 - 日露親善条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。
 - 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。
 - 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。
- 問10 北海道東部の釧路市周辺には広大な湿地が広がっています。この地域の自然環境と農業について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- 冬に北西から吹く湿った季節風が山脈に突き当たり、世界有数の豪雪地帯となるため、冬の間の農業は行われない。
 - 広大な湿地を干拓して大規模な水田地帯が作られており、石狩平野と並ぶ北海道有数の米の産地となっている。
 - 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。
 - 年間を通じて温暖な対馬海流の影響を強く受けているため、冬でも雪がほとんど降らず、野菜の促成栽培が行われている。
- 問11 北海道の札幌（日本海側）と根室（太平洋側）の気候を比較したとき、根室で夏の気温があまり上がらず、札幌で冬の降水量が多くなる理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- 根室は夏に暖流と偏西風の影響を受け、札幌は冬に寒流と偏西風の影響を受けるから
 - 根室は冬に寒流と偏西風の影響を受け、札幌は夏に暖流と偏西風の影響を受けるから
 - 根室は冬に暖流と季節風の影響を受け、札幌は夏に寒流と季節風の影響を受けるから
 - 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから